

「令和6年度生成AIを活用した全庁的な生産性向上のための実証業務」
に係る公募型プロポーザル方式実施説明書評価方法

評価項目	評価基準	配点	
1 企画提案内容	(1) 基本実施方針 ・業務の目的を理解し、明確なコンセプトが提案されているか。 ・本市と協力し、目的を達しようとする姿勢がみられるか。	10	
	(2) 生成AI検証環境の適切性及び有効性	20	
	・仕様書に示した内容が適切に盛り込まれているか。	10	
	・一般ユーザーの使い勝手 (UI/UX) が優れているか。	5	
	・管理ユーザーの使い勝手 (UI/UX) が優れているか。	5	
	(3) 昨年度の実証を踏まえた対策の適切性及び有効性	45	
	・対策全体として、有効かつ現実的な提案となっているか。	5	
	・回答精度の向上に資する提案であるか。	10	
	・学習データの更新等のメンテナンスの手間の軽減に資する提案であるか。	10	
	・LGWAN (行政総合ネットワーク) 対応など、セキュリティ上の懸念の払拭に資する提案であるか。 ・拡張可能なAIサービスであるか。	10	
2 業務実施体制等	(4) 実施体制、スケジュール、類似業務実績	10	
	・実施体制及びスケジュールは無理なく、また実現可能なものであるか。		5
	・類似業務の実績はあるか。		5
3 その他提案	(5) その他提案 ・効果的かつ魅力的な独自の提案が盛り込まれているか。	10	
4 見積金額	(6) 見積金額 ・見積金額が仕様書提示の範囲内であり、仕様書で求める業務に対する提案内容にみあった妥当な金額となっているか。	5	

- ・評価基準表に従い、評価項目ごとに4段階 (A~D) で評価を行う。
- ・配点に応じ、評価を下記の点数に換算して集計する。特例として、審査員が極めて不十分と判断した場合は、配点にかかわらず「0」点とすることができる。

配点	優良 (A)	やや優良 (B)	やや不十分 (C)	不十分 (D)
5	5	3.75	2.5	1.25
10	10	7.5	5	2.5
20	20	15	10	5